

## 認知症高齢者の帰宅願望行動評価スケール 略称：帰宅行動スケール

**概要：**認知症高齢者の帰宅願望に基づく行動(帰宅願望行動)の程度を評価するためのスケール（尺度）で、12 項目版の**帰宅行動スケール 12**と 5 項目簡易版の**帰宅行動スケール 5**があります。帰宅願望はだれもが持つ感情ですが、本スケールはそれが行動としてどれだけ表出されているかを評価します。

**使用目的：**帰宅願望行動を早期に検出し、適切な対応に早期に結びつけるために用います。職員間で情報共有し、同一のケアを行うのにも役立ちます。また、定量的な評価を経時的に行うことで、対応が適切だったかどうかを振り返ることができます。

医療や介護を提供するスタッフの視点では「帰宅願望行動」ですが、本人の視点に立つと、「なぜ、自分はここに居るのだ、家に帰ろう」「自分はこんなところに居たくない」などの思いを表出している行動です。その思いを理解し、背景に潜む理由を探り、思いに寄り添うケアのために本スケールをご活用ください。

**背景：**帰宅願望行動は、認知症の行動・心理症状(BPSD: Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)のひとつで、認知症の医療・ケアの現場で頻繁に遭遇します。帰宅願望行動は、単に「帰りたい」と口に出すだけでなく、荷物をまとめる、出口を探して歩き回る、興奮して大声を出すなど、様々な形で表出されます。そして、医療や介護・リハビリテーションの現場で、スタッフの負担度を大きくします。しかし、帰宅願望行動の程度を客観的かつ定量的に評価する標準化された評価スケールは存在しません。また、スタッフ間で帰宅願望行動の捉え方に差異があり、統一的なケアの提供を困難にしています。そこで、**帰宅行動スケール 12**を開発しました。なお、検者間の評価にばらつきが少ない 5 項目を選定し、5 項目の**帰宅行動スケール 5**も作成しました。

開発当初は略称を「帰宅願望スケール」としましたが、「願望」ではなく「行動」の評価なので、略称は「帰宅行動スケール」を用いることとしました。

### 学会報告

- 1) 吉岡哲郎、他：認知症高齢者の帰宅願望行動評価尺度（帰宅願望スケール）の開発. 第 3 回慢性期リハビリテーション学会、2016
- 2) 吉岡哲郎、他：認知症高齢者の帰宅願望行動評価スケールの開発. 第 50 回日本作業療法学会、2016
- 3) 新谷夏海、他：帰宅願望行動評価スケールは、高齢者の帰宅願望行動の程度を数値化できているか？～介護職員への聞き取り調査による妥当性の検証. 第 23 回日本認知症ケア学会、2022

### 原著論文

投稿準備中

# 認知症高齢者の帰宅願望行動評価スケール 略称：帰宅行動スケール

対象者：

ID：

フロア：

| 評価者：                        |                                       | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|-----------------------------|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 1                           | 荷物をまとめる（荷物を持っている）                     |     |     |     |     |
| 2                           | 他利用者に対して一緒に帰ろうと誘う                     |     |     |     |     |
| 3                           | 帰れないと暴力行為が見られる                        |     |     |     |     |
| 4                           | 出口前に30秒以上待機している                       |     |     |     |     |
| 5                           | 出口や、非常口を開けようとする（触れる）                  |     |     |     |     |
| 6                           | 出口を職員に尋ねる                             |     |     |     |     |
| 7                           | 帰りたいと口に出す（尋ねてくる）                      |     |     |     |     |
| 8                           | 歩き回っている                               |     |     |     |     |
| 9                           | 帰れないと興奮し、大声を出す                        |     |     |     |     |
| 10                          | 具体的に帰る方法を職員へ指示する（出口を開ける、タクシー、家族を呼べ 等） |     |     |     |     |
| 11                          | 出口や非常口を強引に開けようとする（壊そうとする）             |     |     |     |     |
| 12                          | 電話を貸して欲しいと職員へ尋ねる                      |     |     |     |     |
| 項目1,4,7,8,10は5項目版 <b>合計</b> |                                       |     |     |     |     |
| 特記事項                        |                                       |     |     |     |     |

過去1週間の行動を振り返って評価する。  
 各項目に該当する場合は1点、該当しない場合は0点  
 合計点が高いほど帰宅願望に基づく行動変化の程度が大きい。

備考欄